



News letter VOL.02

鳥取市では、将来にわたって公共施設を安心して使い続けていけるよう、施設の再編を検討しています。

その取り組みとして、「国府地域のくらしと公共施設を考えるワークショップ」を開催し、「このまちでどんなくらしをしていきたいか」、「そのためにどんな施設が必要か」を、全2回のワークショップを通じて地域のみなさんと一緒に考えました。

Topic 1 前回の内容を振り返り たたき台の改善アイデアを整理

ワーク1では、前回話し合った内容を振り返りながら、たたき台の改善アイデアについて話し合いました。「どうすれば人が集まる場になるのか」「他の施設との役割分担をどうするのか」などを検討し、各グループで改善アイデアをまとめました。

(※)たたき台…市が結論を決めたものではなく、参加者の皆さんと一緒に考え、意見を出し合うための出発点となる資料

Topic 2 グループの提案をまとめる

ワーク2では、ワーク1で出された改善アイデアについて、どのような効果が期待できるか、実現するためには何が必要か、地域住民や団体にできることは何かを話し合い、模造紙にグループの提案をまとめました。

Topic 3 提案内容の共有 & 記念撮影

ワークショップの最後には、全2回の成果をまとめて他グループへ共有する全体発表を行いました。発表の中では、グループごとにアイデアが深掘りされた内容や、公共施設の新たな使い方・あり方などがたくさん共有されました。同じエリアを対象にしている、グループによって考え方は様々で、たくさんの人が関わる「まちづくり」の様子を感じるワークショップとなりました。

このワークショップは公共施設を、そして地域を考えるきっかけにすぎません。今後、行政と地域が協働し、より良い国府町にしていける活動へと繋げていきたいと思ひます。



第2回

くらしと施設のすがたを みんなで描く

日時：8/29 (土)
9:30~12:00

会場：国府町コミュニティセンター

参加者：20名
(4グループで編成)

